



マグネシウム・ソレイユ・プロジェクト

「21世紀に地球が直面する最も大きな課題は、持続可能な方法でエネルギーを生産し、消費しなければならないということです。その方法として、エネルギーキャリアとして注目されるマグネシウムを製錬し、合金を生産し、これを軽量の構造材として活用した後に、電池として利用することが有望視されています。自然エネルギーなどが余ったときに、そのエネルギーを用いてマグネシウムのリサイクルを行うことは、エネルギーを貯蔵することと同じで、さらに付加価値が上がります。私たち協議会はマグネシウムに限らず、今後、エネルギーキャリアとなる素材を循環システムに位置付け、国内だけでなく世界中のどこでも、公平なテーマとして扱いができるよう啓発活動を推進しながら構築・実現していくことで、地球環境の維持保全に貢献して行きます。」

「Mg-Day in IWAKI」にて展示(11月21日いわき駅前ラトブ)

我々はEVに搭載するエネルギーの多様性を展開しています。

(海水から製錬するMgをエネルギーキャリアとしての電池の実現、そしてソーラーカーは自己完結型のEVです。)

東海大学：木村 英樹 教授 (ソレイユ・プロジェクト・EV用部会会長)
玉川大学：齊藤 純 准教授 (ソレイユ・プロジェクト・EV用部会)



玉川大学のマグネシウムで走る世界発のハイブリッド・ソーラーカー (未来叶い、S-MgConcept)

日本独自のマグネシウム生産拠点の確立
[Green Power Supply Systems Project] Mg・Soleil Project
「マグネシウム製錬実証試験設備の構築(久米島プロジェクト)」



世界トップクラスの東海大学のソーラーカーと国内各大会で活躍するEVエコラン・カー

2022年3月に計画していましたが、新型コロナインパクトのため、中止して決定できませんでした。

計画中 2022ワールド・エコノムープ・グランプリ最終戦予定(約出場30台)
2023年3月18日(土)から19日(日)
沖崎(久米島) ソーラーカーデモ走行予定(東海大、玉川大、工学院大)

＜国内唯一の公道での国際レース＞
2023. 3. 19 W.E.M.久米島 (グランプリ最終戦) 予定
開催予定：2023.03.18 (土) - 19 (日)
2011 (I) 「Mg-Day in KUMAJIMA IV」開催予定

久米島までの協議車両の運搬費負担(コンテナ費用)は内閣府助成にて検討中です。
(東京、大阪、那覇から)
久米島のホームページは次の通りです。
<http://www.town.kumajima.okinawa.jp/>

コース等について
右回りで一周 1.8kmでの総周回数に採モゾクリとしての追加ポイントを追加しての記録を競う。
追加ポイントについては技術・環境に関するものとして検討中
〒901-3105 沖縄県島尻郡久米島町字宇津414 水産加工施設隣近

デモ走行として参加予定のソーラーカー(車種(左から))玉川大学、東海大学、工学院大学

一般社団法人循環社会推進協議会 (2022.12.01より変更予定) 約50団体他加盟 (産学官連携)

<http://www.soleil-energy.jp>

*2018年2月より社団法人

代表理事：熊谷枝折 (事務局長兼電池部会長)

s-kumagai@soleil-energy.jp

会長：坂本満 (兼合金部会長) 製錬部会長：柴田浩幸、海洋エネルギー部会長：池上康之、EV部会長：木村英樹、応用部会長：榎川重男

事務局：高田賢一 (協議会)、前田雅彦 (開発委員会)

東北大学 先端材料技術開発センター マグネシウムソレイユプロジェクト 022-217-3884 (Tel/Fax)